



放牧場の様子

経営概要

蜜山 隆満・弘和

◆代表者・所在地

蜜山 隆満・弘和 長崎県平戸市

◆設立

令和6年度法人化予定

◆経営規模

繁殖牛頭数 130頭、水稻 170a、飼料作物 730a

◆従業員数

家族労働4名、常時雇用1名、パート・アルバイト2名、和牛ヘルパー1名

◆事業内容

肉用牛の繁殖及び水稻の生産販売に取り組む。

1 現状と相談までの経緯

先代経営者から肉用牛の繁殖経営を継承し、地域の広大な草原を活かして肉用繁殖牛を放牧飼育することで、家畜の健康と作業の省力化を実現し、妻と息子夫婦と共に繁殖牛経営に取り組んでいる。

規模拡大に伴い、安定した雇用確保や息子への円滑な経営継承等を見据え、法人化を検討する中、日常的に付き合いのある普及指導員に相談したところ、「長崎県農業経営・就農支援センター」を紹介された。

2 相談内容

法人化に当たって、合同会社・株式会社など法人形態の選択、法人化のメリット・デメリット、最適な法人設立の進め方について教えて欲しい。

また、法人化にともなう定款作成等の事務手続きや法人化に向けた法人化の時期などについてもアドバイスが欲しい。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

既に普及指導員との面談の中で、法人化の意向、目的等が整理されていたことから、法人化に関する情報提供と法人化計画の検討に向けた指導・助言などを行うこととし、専門家を中心とした支援チームを編成の上、支援計画をたてた。

支援チーム構成員：

税理士、平戸市職員、県農業会議、普及指導員

■専門家派遣を通じた助言の実施

支援チーム構成員で各種調整を行い、税理士を派遣して法人形態や法人化のメリット・デメリット、法人化の手順と経費について指導・助言を行った。

・法人化に向けた助言（税理士）

過去3か年の税務申告書により経営状況を分析し、法人の形態・税金・土地などの資産に関する疑問点や課題の整理、経営の方向性を明確にするための助言を行った。

・規模拡大に向けた計画策定支援（市職員、普及指導員）

5か年の収支計画、設備・機械の更新計画等の作成支援、将来の経営方針の見える化、従業員の確保計画及び経営継承の考え方について、具体的な説明や助言を行った。



経営状況の間取りの様子

■ 支援を受けて・・・

専門家からのアドバイスを通じ、法人化に向けた疑問点を解消することができ、令和6年度中の法人設立に向けて税理士の協力を得ながら準備を進めている。

■ 今後の展開

法人設立後も、規模拡大を進めながら、安心して働ける職場環境の整備と安定的な雇用の確保を実現する。



牛舎等全景

喜びの声

数年前から法人化を検討していました。今回、知識豊富な専門家のアドバイスを受けたことで、法人化へ向けた自分自身の理解が深まりました。今後も規模拡大を進めながら、法人設立に向けて準備を進めていきたいと思っています。

専属スタッフ所感

法人化することを数年前から検討されていたので、専門家からも具体的な助言ができ、法人設立計画まで協議が順調に進みました。法人化の目的が明確であり、後継者育成も十分できていることから、地域の牽引役として経営発展していくことを期待しています。

<支援機関> 長崎県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営相談】

住 所：長崎県長崎市元船町17番1号
長崎県大波止ビル3階

電話番号：095-822-9647

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00

【就農相談】 新規就農相談センター

住 所：長崎県諫早市小船越町3171番

電話番号：0957-25-0031

受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
9：00～12：00 13：00～17：00



経営相談窓口外観 ・ 就農相談窓口外観

農業を担う者の確保・育成を目的として、県が事業主体となり、経営に関する拠点を（一社）長崎県農業会議、就農に関する拠点を（公財）長崎県農林水産業担い手育成基金に設置して設立。地域レベルでは、県振興局・市町・JA等の地域支援チームが農業者に対する伴走支援を行い、農業を担う者の確保、法人化・経営継承をはじめとする農業経営課題解決への取組等、様々な支援を行っております。